

令和6（2024）年度 第1回水工学委員会および幹事会 議事録

日 時：令和6年6月5日（水）13:00～15:30

場 所：オンライン（Zoom）

出席者（□ は出席者）

中川 一(顧問), 寶 馨(顧問), 道奥 康治(顧問), 中北 英一(顧問), 清水 康行(顧問), 清水 義彦(顧問),
泉 典洋, 佐山 敬洋, 小田 僚子, 矢野 真一郎, 溝口 敦子, 高橋 正行, 椿 涼太, 風間 聡,
入江 政宏, 竹林 洋史, 大石 哲, 手計 太一, 森脇 亮, 中山 恵介, 田端 幸輔, 音田 慎一郎,
川村 里見, 山田 朋人, 岩崎 理樹, 梅田 信, 川越 清樹, 二瓶 泰雄, 鼎 信次郎, 田中 規夫,
宮本 仁志, 芳村 圭, 平林 由希子, 小澤 盛生, 瀬崎 智之, 柿沼 太貴, 佐藤 隆宏, 陰山 健太郎,
荒木 千博, 渡邊 武志, 中村 要介, 岡村 誠司, 戸田 祐嗣, 谷口 健司, 武田 誠, 市川 温, 川池 健司,
小林 健一郎, 田中 賢治, 山上 路生, 山口 弘誠, 赤松 良久, 内田 龍彦, 高橋 直己, 杉原 裕司,
重枝 未玲 (書記：佐山) (委員 39/50 名)
大槻 順朗(オブザーバ), 五十里 洋行(オブザーバ), 深見 和彦(オブザーバ), 呉 修一(オブザーバ)
那須 珠実 (土木学会事務局)

(以上、敬称略)

0. 泉委員長挨拶

- ・議事に先立ち、泉委員長より挨拶があった。

《報告事項》

- 令和6年度水工学委員会構成（幹事長） 資料 1-1、2
 - ・資料に基づき説明された。本部の出版委員会は宮本委員から椿委員に交代の予定。水害対策小委員会の幹事が大槻先生から田代先生に交代。土論水圏工学編集小委員会幹事が交代（詳細は資料参照）。
- 令和6年度の年間スケジュール（幹事長） 資料 2
 - ・資料に基づき説明された。
- 令和6年度水工学に関する夏期研修会（大阪公立大学、山口委員（代理：幹事長）） 資料 3
 - ・資料に基づき準備状況の説明があった。今年度は対面開催の予定。
- 第28回水シンポジウム2024 in ながの（幹事長） 資料 4
 - ・資料に基づき準備状況が説明された。対面開催とし、講演の動画コンテンツを後日配信予定。積極的な参加の要請があった。四部会に対してパネル展示を準備するよう要請があった。
- 部会・小委員会・関連委員会の活動報告及び活動計画
 - 部 会：基礎水理部会（高橋正委員） 資料 5-1
 - 河川部会（内田委員） 資料 5-2
 - 環境水理部会（赤松委員） 資料 5-3
 - 水文部会（市川委員（代理：幹事長）） 資料 5-4
 - 研究小委員会：グローバル気候変動適応研究小委員会（小林委員） 資料 5-5
 - 河道管理研究小委員会（戸田委員） 資料 5-6

- | | |
|----------------------------|---------|
| 水理・水文統計解析研究小委員会（風間委員） | 資料 5-7 |
| 河川観測技術高度化研究小委員会（手計委員） | 資料 5-8 |
| ➤関連委員会：水工学オンライン小委員会（重枝委員） | 資料 5-9 |
| 土木学会論文集編集委員会（戸田委員） | |
| 河川懇談会（二瓶委員） | 資料 5-10 |
| 水害対策小委員会（竹林委員） | 資料 5-11 |
| 流域管理と地域計画の連携（市川委員（代理：幹事長）） | |
- ・各部部长，小委員長および関連委員から，各部会，各小委員会，関連委員会の活動報告と今年度の予定に関して説明があった。詳細は資料の通りである。
 - ・水害対策小委員会委員長の竹林委員より，令和6年度能登半島地震に関する学会調査団派遣自粛について問題提起された。土木学会の活動目的のひとつに「諸災時の緊急支援」や「調査団を派遣し，学術的，技術的見地からメカニズムの解明と防災上の提案を行う」などがある。調査団として派遣しないと学会本部が判断するのではなく，いかに調査できるかを都度検討頂きたい。資料5-11の内容を現学会長にも申し入れたとの報告があった。それに対して，防災学術連携帯や学術会議とも連携をすべきとの意見が出された。
6. 令和5年度水工学委員会の活動評価（幹事長） 資料6
- ・佐山幹事長より，水工学委員会がAランクの評価であり，この評価に伴って調査研究費の2024年度配分額が85.8万円となったことが報告された。
7. その他

《協議事項》

1. 令和6年度土木学会論文集特集号（水工学）査読・編集作業等（小田編集幹事長） 協議資料1
 - ・小田編集幹事長より，今年度の投稿が（270件）であったことが報告された。
 - ・今年度もEM（Editorial Manager）補佐をお願いする。昨年度は様式の修正で著者とEM補佐のやり取りに時間を要してしたので，EM補佐からの指摘は1度にし，その確認や追加の修正依頼は校正業者から行う予定。
2. 令和6年度第69回水工学講演会について（富山，呉委員（代理：幹事長）） 協議資料2
 - ・今年度の講演会（富山，富山県民会館）に関する準備状況の説明があった。
 - ・補助金申請のために1か月以上前の早期参加登録をお願いする可能性がある。登録依頼があった場合には，周辺の関係者にも周知いただき対応をお願いしたい。
 - ・「水工学若手研究会（仮称）」を水工学講演会前日（12/1）に開催予定である旨、幹事長から報告があった。各部会から選出されたとりまとめ役を中心に今後企画を固めて連絡があるので，若手研究者や学生に積極的に参加するようお声がけと支援をいただきたい。
3. 令和7年度第70回水工学講演会について（福島，川越委員） 協議資料3
 - ・川越委員より，来年度の講演会に関する準備状況の説明があった。郡山公会堂での開催を予定。
4. 令和7年度水工学に関する夏期研修会（福岡，水工学委員会担当，矢野委員） 協議資料4
 - ・矢野委員より，来年度の夏期研修会（福岡）に関する準備状況の説明があった。主担当は九大渡部先生。
 - ・全体テーマとして「水工学におけるパラダイムシフト」が提案・承認された。
5. 令和7年度水シンポジウム（山梨県，大槻先生）
 - ・来年度の水シンポジウムを山梨県で開催する予定である。

6. JSCE-CCES Joint Symposium について（矢野委員）

協議資料 5

- ・ 矢野委員より，4th JSCE-CCES Joint Symposium の案内に関する説明があった．
- ・ 開催日は10月9日から12日（会議は10, 11日の予定），南京市内のホテルで開催予定．
- ・ 若手研究者（30歳以下）には10万円の補助を予定．8月頃にアブストラクト提出の締切予定．

7. 令和6年度の水工学委員会の予算について（幹事長）

協議資料 6

- ・ 佐山幹事長より，今年度の予算額（概算）の説明があった．

8. その他

- ・ なし

以上